

【CO₂レーザー(DEKA SmartXide)による バルトリン腺嚢胞開窓術(造袋術) 説明書・同意書】

■ 手術名

CO₂レーザー(DEKA SmartXide)によるバルトリン腺嚢胞開窓術(造袋術)

■ 使用機器

当院では DEKA 社 SmartXide CO₂レーザー を使用しています。
このレーザーは水分に吸収されやすい波長(10,600nm)を持ち、
嚢胞壁を選択的に切開・蒸散できるため、正常組織へのダメージが少ないという特徴
があります。

■ 手術の目的

バルトリン腺嚢胞は、バルトリン腺の開口部が詰まり、分泌液がたまることで形成され
る嚢胞です。
自然治癒しにくく、再発することがあります。

CO₂レーザーを用いて嚢胞壁を開窓し、造袋術(嚢胞壁と皮膚を縫合して開口部を保
つ処置)を行うことで、
嚢胞内容を排出し、再発を防ぐことを目的とします。

■ 手術方法

局所麻酔を行います。
DEKA SmartXide CO₂レーザーを用いて嚢胞壁を切開し、内容液を排出します。
嚢胞壁の一部を切除し、開口部が閉じないように皮膚と縫合して造袋術を行います。
出血がある場合はレーザーで止血します。

■ 手術時間

10～20 分程度(嚢胞の大きさによる)

■ 術後経過

軟膏を塗布し創部を保護します。

1～2週間で上皮化します。

入浴は当日シャワー可、湯船は数日控えてください。

性交渉は2～4週間控えてください。

再発する可能性があります(約5～15%)。

■ 合併症

痛み

出血

感染

再発

瘢痕形成(まれ)

色素沈着・色素脱失

■ 代替治療

切開排膿のみ

切除術

経過観察(自然治癒は少ない)

■ 説明を受け理解しました

患者氏名: _____

署名: _____

日付: ____年__月__日

医師名: _____